

[内装小面積向き]

ジョリパット不燃  
JQ-200シリーズ  
ジェムドット仕上げ  
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社  
第二R&Dセンター  
建設樹脂開発グループ

<使用材料>

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジェットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	約51.4㎡/缶
主 材	ジェット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ-□□□□ (□…数字) 特注色 JQ - 200△○○○ (△…英字、○…数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg缶	約15㎡/缶
骨 材	JF-25 JF-1	カラー珪砂Sブラック 寒水石1厘	25kg袋入 20kg袋入	約22.5㎡/袋 約4.4㎡/袋

<主な施工道具>

- ・ ステンレスゴテ (角ゴテ)
- ・ スチロールゴテ (スタイロフォーム\*のような発泡スチロールでも可)
- ・ 仕上げゴテ (ステンレス製の腰の柔らかいもの)

※スタイロフォームはザ ダウ ケミカル カンパニーの登録商標です。

<下地調整>

標準下地は、石膏ボード (プラスターボード) 又はモルタルとする。

## <ジェムドット仕上げ施工方法>

### 1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	18ℓ
塗 布 量	0.07kg/m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

・ JQ-200をステンレスゴテにて0.9kg/m <sup>2</sup> となるよう平滑に塗布する。		
--	--	--

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

◎乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

配 合	JQ-200シーラ	20kg
	JF-25(カー-珪砂Sフック)	5kg
	寒水石 1厘	20kg
	清 水	2.5ℓ
塗 布 量	約1.0kg/m <sup>2</sup>	
施工道具	ステンレスゴテ ステンレスゴテにて薄く塗布する。 (図-1)	

追かけ塗り(5分以内)

### 4. パターン付け

・ スチロールゴテを円状に動かし、骨材が転がった模様を出す。(図-2)		
-------------------------------------	--	--

追かけ塗り(5分以内)

### 5. 押さえ(仕上げ)

・ 仕上げゴテを円状に動かし、表面が平滑になるよう押さえる。(図-3)		
-------------------------------------	--	--

24時間以上放置して乾燥させる。

### <施工のポイント>

- ・ 材料を配り塗りする際、左官のコテ配りでは、黒い硅砂が偏る為、一定方向にコテを動かして配るのではなく、ランダムな扇模様を描くようにして薄く配り塗りする。(図-1)

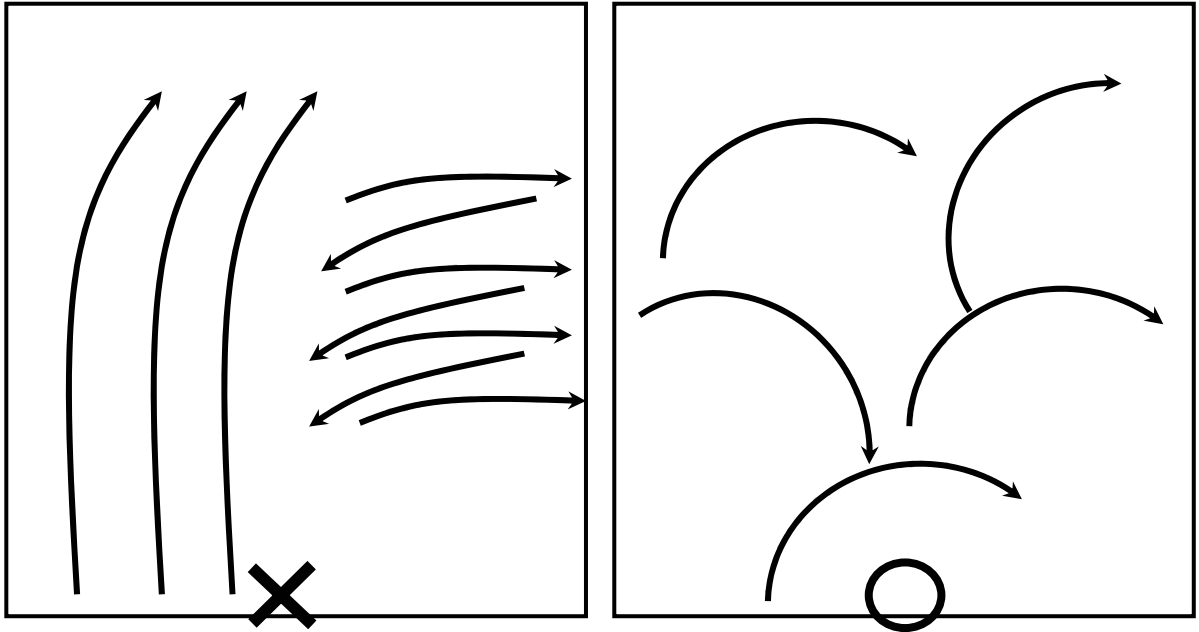


図-1

- ・ スチロールゴテを円状にランダムに動かし、黒い硅砂（JF-25）が偏らないよう分散させる。

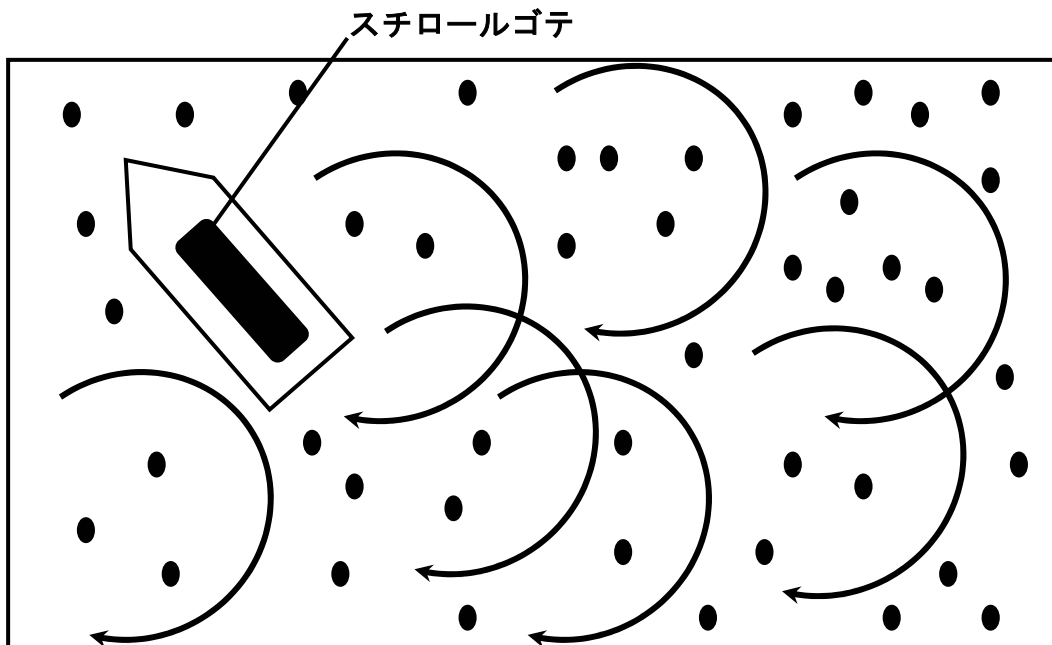


図-2

- ・仕上げゴテを円状にランダムに動かし、平滑になるよう押さえる。

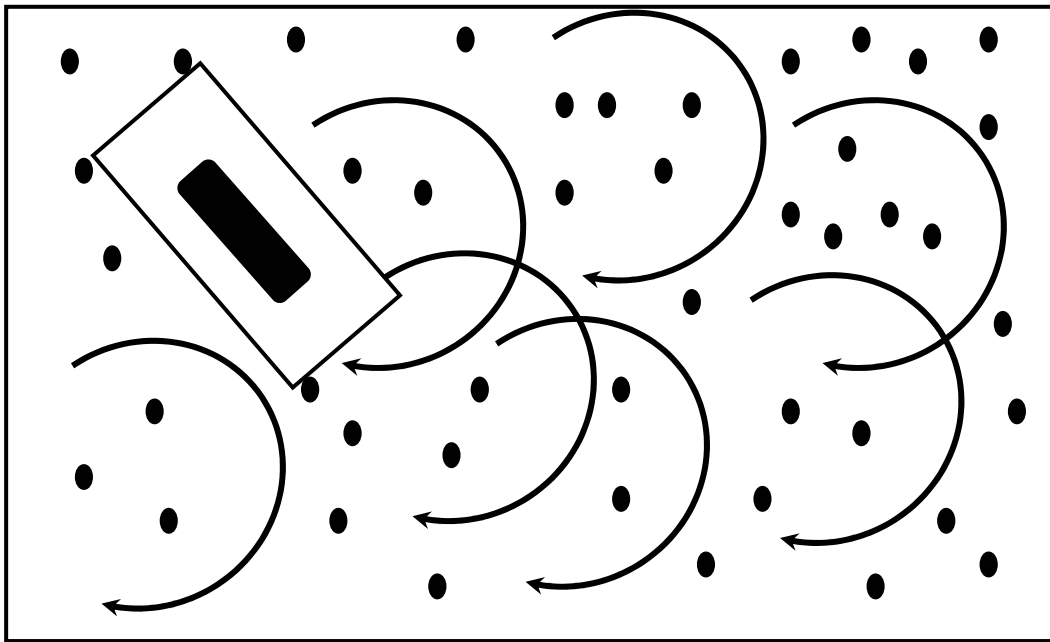


図-3

#### <施工の注意事項>

- ・ 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・ 材料の練混ぜはハンドミキサーなど機械練りとし、均一になるまで十分に練り合わせて下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 塗膜が薄く下地の不陸を拾いやすい仕上げのため、下地が平滑であることを確認してから施工して下さい。(特にモルタル下地や、ボードの継目では下地に不陸が出やすいため、下地を平滑に処理した後、施工して下さい。)
- ・ 仕上げゴテは常にきれいに保ち、塗材が付着した場合はウエス等で拭き取る。(仕上げゴテが汚れているとフラットに押さえられない)
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

以上

完全にコテムラなくフラットに仕上げることはできません。